

## 第240回 地域連携運営委員会議事録

日時 令和8年2月12日（木） 午後6時30分 大会議室

会議 参加14名、 不参加6名

### 議題1 新潟市・新津地域における連携手段

令和8年2月6日（金）開催のICT学習会について

参加者は介護支援専門員13名、看護師15名、医師4名 その他で計62名

アンケート結果は別添のとおり。

全体として、評価は高く導入に向けて前向きな結果だったが、費用面のところでネガティブな意見もあった。

今後の学習会にも参加したいと考えている人が75%

他地区にいた訪看事業所からは秋葉区でのアナログにびっくりしているという意見もあった。

### 議題2 第2回秋葉区病診連携の会

秋葉区の病院勤務医と地域の開業医の連携を考える集いについて

ICT学習会後の2月6日19時より割烹おぐまにて開催

医師17名、その他で計29名の参加

冒頭、かえつクリニックの児玉医師よりスワンネットについて説明。

医師会の斎川氏にも特別参加いただいた。

顔の見える貴重な会として幅広く参加を呼びかけたいとの意見や、内科系に偏りすぎでは、懇親会をどうするかなど課題も出された。

### 議題3 診療報酬改定を前に

医療の現状と課題ということで豊島委員長より発言。

地域の連携をどうするか・・・。入退院支援加算では入院前の情報をいかにとるか？

「かかりつけ」をいかに責任を持って診るか。

在宅医の立場では退院支援が始まる前に一言相談があると助かる・・・など。

実際には開業医での在宅看取りは減少、施設での看取りが増加傾向。

在宅看取りは専門の訪問診療所に集中してきている。

外来も入院も2030年をピークに下がっていく。平均在院日数も下がる中で在宅に向けてどのような方法をとるのか。

以上のような意見が交わされた。

その他

次回は別紙のとおり、地域医療重点事業「一般心療科と精神科との連携を考える」視聴を考えており前半は委員会、後半は学習会とする。

次回は令和8年3月12日（木）6時30分予定。

以上